

再エネで宝島の 災害レジリエンス×ゼロエミ化に貢献

株式会社ネクセライズ



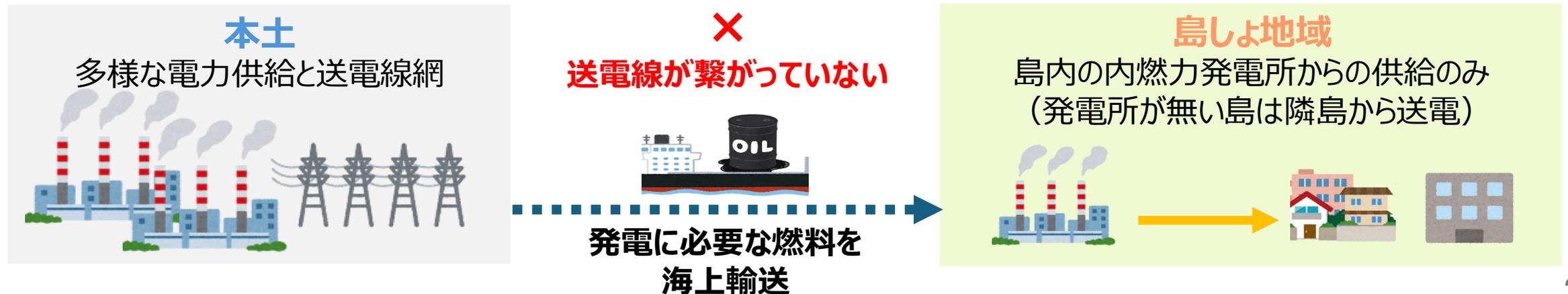
本プロジェクトへの弊社の思い

「島しょの電気（生活）を守り続ける！ 持続可能な地域づくりに貢献する！」

- 弊社は、約60年の間、島しょ地域の電力の安定供給に携わり、日々、刻々と変わる気象海象を予測しつつ燃料の海上輸送を行ってきました。
 - 島しょ地域の電力安定供給の難しさを知っている弊社ゆえの思いがあります。それは、
 - ◇ 電力ライフラインを守るため、自然災害に備えるとともに「災害レジリエンス」*1の向上に貢献すること
 - ◇ 太陽光発電・蓄電池システム等の導入・拡大を通じて、“島の宝”である地域住民の皆様の生活の安定と活性化に寄与すること
- です。

*1：災害を乗り越える力

(参考) 島しょ地域におけるエネルギーの本土依存と単一性



プロジェクトの背景と目的

背景

自然災害リスクと居住人口や観光客数の減少

台風や地震、津波などの
自然災害への対応力強化の
必要性大

居住人口や観光客数の減少による
地域活力の低下への対応

目的

「災害レジリエンスの向上」と「脱炭素化の推進」への貢献

災害レジリエンスの向上
(電力供給途絶リスク)

発災時は海上輸送STOP
発電所が被災・停止
=発電所再開まで電気の使用不可

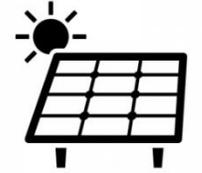
脱炭素化を通じた
活力ある地域づくり

「ゼロエミッションアイランド」のブランド化

プロジェクトにおける施策

以下の施策を新島・式根島で実施(次フェーズで他島へも展開)

① 本土 & 島内工事業者との協働体制で太陽光発電・蓄電池システム※¹の導入を展開 ※¹ 以下、太陽光発電設備等とする。



② 島内における太陽光発電設備等の点検・保守サービスの開始



③ 島内工事業者への教育訓練サービスの提供



④ 島内イベントでの太陽光発電設備等に関する情報発信



プロジェクトがもたらす効果

災害時のレジリエンスの向上

太陽光発電と蓄電池を組合わせて設置することで、停電が長期化しても、電気の継続的な使用が可能

地域全体の脱炭素化の推進

太陽光発電による電力創出量1,370MWh
CO₂約1千トンに相当（2030年度末時点）

波及効果

- ①電力インフラ整備による更なる課題解決
(例.電動モビリティ等の普及)
- ②サービス従事者の増加(例.工事従事者)



将来的には

- ③ゼロエミッションアイランドという島しょ固有価値・観光誘致効果の創出
(例.ゼロエミッションライフ/エコツーリズム)



太陽光発電設備等の普及率UP = 「ゼロエミッションアイランド」のブランド化への貢献

太陽光発電設備等の普及に関する地域課題

課題1. 施工可能な事業者が少ない



- 島内事業者が限定的(計画～運用・保守までのトータル対応)
- 施工ノウハウが不十分(島しょ特有の塩害、強風対策)
- 本土からの利便性が悪い(移動時間の長さ、渡島手段)

課題2. 点検・保守サービスが不十分



- 品質に改善の余地あり(トラブル事例が散見)
- サービスが未整備(島しょにフィットしたものがない)
- 厳しい使用環境に対する不安感からの設備導入躊躇

課題3. 太陽光発電設備等への理解不足



- 導入メリット(災害対策、電気代削減)や補助金等が周知不足

課題解決への取り組み

① 協働体制構築

- (1) 本土&島内事業者の協働体制構築
- (2) OJT※1による島内事業者のスキルアップ
- (3) ノウハウのDB化※2、情報共有プラットフォーム構築

※1 OJT：実務を通じて行う教育

※2 DB：データベース

② 運用・保守サービス

- (1) 定期点検や不具合や台風通過後の現場確認、簡易補修をサービス化
- (2) 本土&島内事業者の協働体制で開始、徐々に島内事業者主体に移行

③ 教育訓練サービス

- (1) 資格取得支援
- (2) 島しょでの施工ノウハウの共有(塩害・強風対策)
- (3) 複数島展開を見据えたオンライン研修

④ 島内イベントでの情報発信

- (1) 太陽光発電設備等の説明会を開催し、平時・有事の有効活用、工事内容、補助金等を説明
- (2) 防災イベント等において、太陽光発電設備等をはじめとした防災に関するTotal Solutionを紹介

※避難所開設訓練、災害ボランティア研修、防災物品販売等の実績あり

次フェーズ

新島・式根島での実証を
踏まえて他島へ横展開

エネルギーマネジメントシステム
への展開

実施スケジュール

取組内容	宝島チャレンジプロジェクト支援期間			2027.1~3	事業化後 自走期間 2027.4~	
	1年目	2年目	3年目			
	2024.10~ 2025.3	2025.4~ 2026.3	2026.4~ 12			
①協働体制構築	<ul style="list-style-type: none"> プラットフォーム準備 工事案件で実務教育 	<ul style="list-style-type: none"> プラットフォーム構築 工事案件で実務教育 	<ul style="list-style-type: none"> プラットフォーム構築 島内事業者主体での施工の試行 	プラットフォーム運営 <ul style="list-style-type: none"> 島内事業者主体での施工の試行 	<ul style="list-style-type: none"> 島内事業者主体施工の本格実施 他島展開検討/実施 	
②点検・保守サービス	<ul style="list-style-type: none"> サービス内容検討 他事例調査 等 	サービス内容詳細検討		<ul style="list-style-type: none"> 本土事業者主体で試行 	<ul style="list-style-type: none"> 島内事業者主体で試行 	サービス実施 <ul style="list-style-type: none"> 他島展開検討/実施
③教育訓練サービス	<ul style="list-style-type: none"> 具体的コンテンツのニーズ調査 (ヒア) 他事例調査 等 	コンテンツを作成しながら 新島村の事業者に共有・育成				サービス実施 (他島)
④情報発信	<ul style="list-style-type: none"> イベント洗い出し 発信内容の検討 	イベントでの情報発信試行 発信内容のバージョンアップ				毎年度1回程度実施 (他島含めて実施場所検討)
+a 電力活用事業の支援 (モビリティ等)	随時、連携して対応					